

令和5年12月21日

ふくしまサステナブルおもてなし宣言！！ ～第一弾として9事業者が宣言します～

ゼロカーボンを含むSDGsに関する取組みの実施を宣言した観光事業者に対して、「ふくしまサステナブルおもてなし宣言書」を交付します。

1. 概要／「ふくしまサステナブルおもてなし宣言」第一弾交付セレモニー

交付日時：12月21日（木）午前11時～

開催場所：4階 市長応接室

内 容：①市長より宣言書の交付

②写真撮影

③懇談

宣言事業所数：9事業所

①土湯温泉観光協会

②(株)元気アップつちゆ

③御とめ湯り（HEART 計画(株)）

④(株)山水荘

⑤山根屋旅館

⑥ニュー扇屋

⑦向瀧別館

⑧はるみや旅館

⑨福島貸切辰巳屋自動車（株）

※取組詳細は別紙のとおり

2. 事業内容／下記2点を満たす事業者が対象となります

① 福島市内に事業所又は支店を有している観光関連の事業活動をしている企業・団体

② 「実・湧・満・彩」の各項目に一つ以上取り組んでいること

テーマ	取組内容	具体例
実	プラスチックごみの削減に関する取組み	観光客へのマイバック利用の推奨、バスアメニティのミニボトル廃止、客室でのペットボトル入りミネラルウォーターの廃止等
湧	カーボンニュートラル 自然・再生可能エネルギーの利用に関する取組み	太陽光発電の設置、温泉排水を活用した床暖房、設備の省エネルギー化、ヒートポンプの導入 等
満	食品ロスの削減に関する取組み	地産地消、食事量が選べる宿泊プランの造成、健康に配慮した食事メニューの開発 等
彩	独自の取組み	子育てにやさしい取組み、バリアフリー、LGBTQへの配慮、品質認証制度「桜クオリティ」の活用等 その他SDGsの取組み

担当：観光交流推進室

室次長 守山、温泉地振興係長 丹治

電話 024-572-5717(直通)

～第一弾として9事業者が宣言します～

1. 交付日時／12月21日（木）午前11時～（記者会見終了後）
2. 開催場所／4階 市長応接室
3. 内 容／①市長より宣言書の交付
②写真撮影
③懇談

テーマ	事業内容
実	
湧	
満	
彩	

令和5年〇月〇日
株式会社〇〇〇
代表取締役社長〇〇〇〇



ふくしまサステナブルおもてなし宣言！！



NO	事業所名	実施している事業の詳細  プラスチックごみの削減に関する取り組み	実施している事業の詳細②  カーボンニュートラル、自然・再生可能エネルギーの利用に関する取り組み	実施している事業の詳細③  食品ロスの削減に関する取り組み	実施している事業の詳細④  自社独自の取り組み
1	NPO法人 土湯温泉観光協会	・観光客へのマイボトル・マイバックの利用推進 ・各旅館におけるアメニティでのプラスチック製品脱却に向けた取り組み	・温泉水を利用した融雪道路の活用	・食事が選べる宿泊プラン造成 ・食品残渣の調査と残渣削減の取り組み	・子育て・高齢者に優しい取り組み（高齢者・学生への路線バス定期券補助） ・各旅館においてのバリアフリー化推進
2	(株)元気アップつちゆ		・小水力発電・地熱発電（バイナリー発電所） ・排湯を利用したエビの養殖		
3	御とめ湯り	・プラスチック製アメニティの全面廃止→竹製品（販売）への転換	・温泉の排湯を活用した融雪設備の導入	・十五穀米や和の食材をメインとしたヘルシーメニューの展開 ・食品残渣の肥料化による環境好循環の形成	・小学生以下無料化及び男女脱衣場に幼児用ベッドの設置
4	水織音の宿 山水荘 YUMORI ONSEN HOSTEL	・アメニティのプラスチック使用量を削減し「ムギ」由来の植物資源への変更 ・アメニティ各部屋配置から必要に応じ持参するシステムへの変更	・館内照明のLED照明化（山水荘98%、別館YUMORI100%） ・デマンド管理による節電の取組	・夕食での『常盤もの』など地元食材の提供 ・食べ残し削減のため『3010運動』協力を呼びかけ ・食材活用による食料ごみの削減（出汁素材をふりかけに、パンをラスクに） ・社食の一部を『Kuradashi』から購入し購入金額の一部を基金に寄付	・地元民芸品『こけし』『えじこ』の販売 ・外国人社員の採用や海外技能実習生の受け入れ（外国人社員の役職登用） ・バリアフリースイートルームの提供。 車椅子用リフト及びスロープ設置 ・社内情報・予約情報のICT端末によるペーパーレス化
5	山根屋旅館	・タオル類以外のアメニティの選択自由化	・温泉水の循環による空調利用（館内、客室：ファンコイル式）	・食事後の量確認による食品ロスの取り組み	・山水の飲料水利用
6	ニュー扇屋	・宿および店舗におけるプラごみの削減 ・プリンに使用する瓶のリサイクル、プラスチック・ストローの利用削減 ・プラ製アメニティの利用削減	・源泉を利用した温泉たまご製造 ・温泉の館内・フロントの暖房・床暖房への利用	・製造過程で割れた温泉たまごのプリンへの利用による食品ロス削減 ・宿提供料理の地産地消の推進 ・食事を選べるプランの造成	・バリアフリー貸切露天風呂と源泉風呂付客室の提供 ・老若男女が使いやすい5つの貸切温泉の提供
7	株式会社 はるみや旅館			・完全地産地消を目標とした地元農家からの食材の仕入れ、地元食材を楽しめるメニューの開発・提供	・男女別内風呂の廃止→男女表記を撤廃し、完全貸切の内湯への転用 ・幼児用ベビーバス、高齢者用手すりとシャワーチェア、ステップを整備
8	向瀧別館 瀧の音	・プラスチック製アメニティ使用量の削減（フロント前準備、セルフ利用）	・過剰湯量の露天風呂への活用	・食品残渣減少を目的とした朝食のカフェテリア方式（半バイキング）の採用	
9	福島貸切辰巳屋自動車株式会社		・再生可能エネルギーを利用した車両の導入 ・水素燃料電池自動車（1台） ・電気自動車（1台）		